



神戸市東灘区住吉本町2丁目19-3 TEL(078)851-9381 FAX(078)821-7270 Email info@kobegojo.sakura.ne.jp URL www.k-kyowakai.or.jp

2021年／3月号 No.392

発行 東神戸医療互助組合

日本国憲法第25条 (生存権、国の社会的使命)

すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
国はすべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の
向上及び増進に努めなければならない。

速報 東診、PCR検査器(米国BD社製)が 2月15日から本格稼働！



PCR検査器の前で組合員に説明する郷地秀夫所長(2月10日)



感染が強く疑われるケースでは
厳重な防護をして診察



奥に見えるのが部屋の空気圧を
下げる陰圧装置

新型コロナウイルスの精密抗体検査につづき、
2月15日から東神戸診療所でPCR検査
ができるようになりました。2月10日に
葺合南支部ふれあい班が、郷地秀夫所長
の案内で、新型コロナウイルス対策の施設や機器
類を見学しました。

立が設置されていました。PCR検査器
は精度の高い米国のBD社製で、一度に
24人分を3時間で検査可能だそうです。
「必要な人が、いつでも、誰でも、
何回でもできるPCR検査」を目指して
いる」との郷地所長の話でした。症状の
ある方は、PCR検査は無料(国費)で
す。気になる方、ご興味のある方は、診
療所までご連絡ください。

お問い合わせ先
東神戸診療所
☎078-231-9031



居場所を支えて くださる方々に感謝

灘東支部 秋本 広子

2015年3月から始まった
「お元氣カフェほおずき」は、今
年満6年を迎えます。6年間続け
られたのには、「ほおずき」の常
連さんの存在が大きいです。



サロンすずらん フルオープン

北支部 村上 泰道

居場所「サロンすずらん」の2
階が改装され、1月から待望のフ
ルオープンとなりました。今の利
用状況は、認知症予防専門士を講
師に、認知症予防体操を月3回お
こなっており(写真右下)、夫婦
で毎回参加の方は「楽しみです」
と喜ばれています。地域の団地利
用もあり、交流の場になりつつあ

酒井さんご夫婦は、天候が悪く
ても来て下さり、ご主人がハーモ
ニカ演奏、奥様が脳トレ体操をし
てくれます。休んだ人にも気を配
ってくれる優しいご夫婦にみんな
元気をもらっています。

他に美空ひばりの歌を楽しく解
説し、聞かせてくれるーさん。机
・椅子・床まで掃除・消毒してく
ださるMさん。「活動資金に」と
お茶を無料提供してくれたMRさ
ん、美味しい珈琲を作って下さる
Yさん等々、たくさんいらっしゃ
います。

今コロナで大変ですが、皆さん
の力を支えにこれからも頑張りま
す！



ります。

コロナがおさまれば本格的な居
場所として活用が進み、多様な利
用が期待されます。

また、私たちが重視しているの
が、大腸がんチェックの取り組み
です。「組合員から大腸がん患者
を一人も出さない」を合言葉に取
り組んできました。

今年は、「例年を上回る普及を
進めよう」と100セットをめざ
して取り組んでいるところです。
サロンの表にポスターを貼りだ
し、通行人にも宣伝、サロンに訪
れる人に普及が進んでいるのが特
徴です。



芦屋支部
久郷田喜代子さん

若ごぼうの煮びたし

【材料】
若ごぼう 1束
うすあげ 1枚
出汁 200cc
薄口しょうゆ 大さじ2
酒、みりん 各大さじ2
サラダ油 少々

【作り方】
①葉と茎と根にわけて、葉は捨てる。茎は4
～5cmに切り、根は金タワシで土とヒゲを
きれいにします。
②根は薄く斜めに切り、茎と根を別々に水に
さらす。



③②をザルに上げ、鍋に湯を沸騰させ、先に
根を入れ、30秒後に茎を入れて、1分後に
ザルに上げる。
④鍋にサラダ油を入れて材料をいため、そこ
に調味料を入れて20～30分煮含める(弱火
で煮る)。

今号の 主な記事

新型コロナ特集その3：明らかにしたこと、そして…これから…3 核兵器禁止条約について発効…4 心のスナッパ「ミサゴ」…5 互
助組合を支える人たち…5 まちがいは7つ…6 三線同好会芦屋班スタート…7 わが家でグルメ気分「若ごぼうの煮びたし」…8

新型コロナウイルス (その3) ～明らかにしたこと、そして…これから～

東神戸病院院長 遠山治彦



新型コロナウイルス感染症の第3波が到来し、兵庫県にも緊急事態宣言が出されました。その効果か、感染者数は減少傾向です。今回は、ここまでコロナで明らかにしたことと、これからについて思うことを書きたいと思います。その前に、東神戸病院でも入院患者様にコロナ患者の発生がありました。幸い2週間たって、ほかの患者様やスタッフに感染はなく、収束したことをご報告いたします。

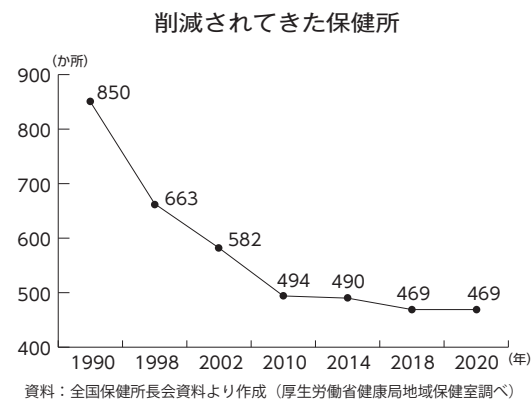
実態はすでに「医療崩壊」

「医療崩壊」…毎日のようにこの言葉を聞きました。「医療崩壊」かどうかみたいな意味のない議論をしているところをTVでみたこともあります。医療崩壊かどうかは別にして、医療の需要と供給のバランスが崩れ、通常の医療が受けられなくなっていることは事実です。コロナ関連の病床利用率が報告されていますが、実際はとっくに飽和していました。コロナ専門病院でなくてもクラスターが発生すれば、自分の病院で完結するしかありませんし、病院ではない施設であっても、入院できずに施設で看ているところも多くありました。そして、重症者数ですが、そもそも悪化しても人工呼吸器管理などを行わない場合（これは本人の希望の場合もそうでない場合もあるでしょう）は、重症者にはカウントされていません。また、もともと兵庫県では感染者は全て入院の方向を打ち出していました。入院が追いつかず、軽症者を自宅療養という方向に転換しました。コロナのための病床は、軽症～重症まで不足していますし、そのための医療者も不足しているのです。また、入院の調整や接触者などの疫学調査を行う保健所はどうかというと、ここも業務が回らない状態となっています。当院で、診断したコロナ患者さんへのアプローチも、保健所がすぐに動けないことも多くなっていました。

またコロナのための医療スタッフや病床の確保が必要であるため、コロナ以外の医療については、ここでも大きく需要と供給のバランスが崩れました。コロナ以外の疾患～特に、循環器疾患、脳血管障害～は急を要する疾患ですが、こうした「救急疾患」にも影響が出ています。さらには発熱がある場合は、なかなか受け入れが決まらないことも多くあり

ます。こうした需要と供給が大きく崩れた状態は、まさに「医療崩壊」と呼べると思います。

背景にある医療抑制政策



なぜ、こんなことが起こってしまったのでしょうか？その背景に医療費抑制政策があったことは間違いありません。保健所は、1990年850か所あったものが、2020年469か所まで減らされています。病床数は総病床数では1998年の165万6415床と比較して、2018年154万6554と93.4%になっています。とくに、感染症病床については1998年9210床と比較し2018年は1882床、なんと20.4%となっています。

病院の感染症病床数は激減			
	病床数		98年と比べた割合
	1998年	2018年	
総病床数	1,656,415	1,546,554	93.4%
精神病床	359,159	329,692	91.8%
感染症病床	9,210	1,882	20.4%
結核病床	27,197	4,762	17.5%
療養病床	99,171	391,506	394.8%
一般病床	1,161,678	890,712	76.7%

資料：厚生労働省医療施設（動態）調査・病院報告の概況より作成

今までも、そして今も、多くの病院の統廃合の計画があります。医療は、災害や感染の時のために、一定の余力が必要であるのに、効率化を優先し、供給量を減らしてきたという問題があります。また、こうした供給の絶対量の不足とともに、地域ごとに、病院の機能・役割を分担し、連携を強めて、感染に立ち向かう点でも課題があったと思います。

今後は、こうした点にも注意しながら見ていく必要があるでしょう。

これからのこと…ワクチンは？

コロナのこれからについてです。

第3波も少し感染者数が減ってきていますが、これがこのまま、収束されるのか？また、どこかで変異株が感染を拡大させるのか？まだまだ、わからないことがあります。感染予防には、当たり前のことを当たり前にするしかありません。①手洗い、20秒以上の石鹸手洗い、そしてアルコール消毒、②マスク着用と会話するときの距離、③換気などは特に重要です。当たり前のことを継続することだと思います。ただ、人との接点が減る中で、逆に「うつ」や「認知症」、「フレイル」の進行が心配されます。感染を予防しながら、どのように人と交わっていくのか？は、やはり大きなテーマです。

いま ワクチンについて

わかっていること

《効果》

- ワクチンを接種すれば、接種しない群に比べて病気の発症を19分の1に減らすことができます

《安全性》

- アナフィラキシー反応：アメリカからの情報では9万人に1人程度発症（インフルエンザワクチンの8.5倍）
- 注射部位疼痛が8割の方に出来ます
- 倦怠感・頭痛が半分の方に出来ます

わかっていないこと

《効果》

- 重症になるのを妨げるのか不明
- 他人への感染伝播を予防できるか不明
- 免疫がどのくらい持続するか不明
- 日本人へどの程度効果があるのか不明

《安全性》

- 75歳以上・基礎疾患のある方の安全性が不明
- 長期的な安全性は不明
- 接種を受けていない人よりも症状が増悪するワクチン関連疾患増悪という現象があるのか不明

豪華客船の話題から始まったコロナ禍の1年がすぎ、また春がやってきました▼春といえば桜、各地の開花状況などがテレビで報道され、桜は日本人の生活に入り込んでいます。そしてお花見。あの悪用された「見る会」ではなくて、庶民のささやかな楽しみ行事です▼うらはら支部ではここ数年、お花見の会を開催してきました。温暖化のせいで開花が早くなっているのですが、かなり早くに日程を決めるので、3月に冷え込んだりすると、つぼみかたしたり、いい天気が続くと葉桜だったり、突然雨が降り、あわてた年もありましたが、それはそれなりに楽しんでました▼しかし昨年はコロナのせいで中止になり、今年もまさかの中止になってしまいました▼自粛、自粛で特に高齢者は家にひきこもりがち。早くコロナ以前の生活にもどり、来年こそは青空の下で満開の桜を、にぎやかに楽しみたいと願っています。

（岡本泰子）

色えんぴつ

核兵器禁止条約ついに発効

日本政府も速やかに参加を

四社(者)協平和アクションプラン推進チーム

大前 雅裕

1月22日、ついに念願の核兵器禁止条約が発効しました。核兵器は開発、実験、製造、貯蔵、使用、威嚇など、すべての活動が国際法によって違法とされます。長年にわたり原水爆の禁止を訴え続けた被爆者をはじめ、内外の広範な市民社会の運動と圧倒的多数の政府の粘り強い努力と共同が実を結んだものです。

それから3年間、徐々に批准国が増えていきました。そのたびに歓喜し、またこういう国があるのかと勉強にもなりました。国連創立75周年にあたる2020年10月24日、ホンジュラスが批准し、50か国に達しました。国連に提出された「ヒバクシャ国際署名」は1370万2345筆にも上ります。毎日毎日こつこつと世界中で取り組まれた署名の力が、核兵器禁止条約を後押ししました。



四社(者)協平和アクションプラン推進チーム/右から2人目が筆者

1月22日、全国各地で核兵器禁止条約発効を記念して宣伝と署名活動が行われました。JR住吉駅でも地域行動が取り組まれ、23人が参加しました。

東神戸病院では2021年末まで平和の活動を広げていること「四社(者)協平和アクションプラン」をつくりました。アクションプランには「原水爆禁止運動や過去の戦争、ビキニ水爆実験などを学ばず」「オンライン被爆体験証言会」に取り組み、被爆体験を継承しよう」などが書かれています。その推進チームは2020年4月に世界大会inニューヨークに参加できな



1月22日の宣伝行動

かった職員や若手職員を中心に構成されています。東神戸病院の廊下に活動を紹介するポスターを貼り、患者さんたちにもアピールしています。

2月15日には、核兵器禁止条約発効&新署名スタート集会を開き、20人が参加しました。兵庫県原水協の代表筆頭幹事の津川知久さんに講演いただき、これまでの情勢や核兵器禁止条約の意義などを学びました。日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める署名を5000筆目標に集めきると決め、推進チームのメンバーも増えました。



2月15日の学習会

れ、核大国は自国の核を「安全の保障」と言い張り、禁止条約に反対しています。しかし世界の大勢は、核兵器の廃絶です。日本政府に核兵器禁止条約を批准させ、核兵器廃絶へ向けて力を合わせて取り組みましょう。

返信用封筒をご活用ください 署名にご協力を



本紙『健康ニュース』が手配りで届いている地域では、左のような署名用紙と返信用封筒が折り込みされています。日本政府に条約参加を迫る世論喚起が重要です。ぜひ、あなたの思いを署名に託し、届けてください！

互助組合を支える人たち



灘東支部 小林トミヨさん

健康ニュースを配りはじめて数十年、灘支部結成からしばらくして運営委員になり、地域活動に関わってきました。

東神戸病院との関わりも長く、中央区の会社勤めのころに、旭通りに東神戸診療所

(病院) ができて浦井先生に診ていただいたこともありま

す。

大石川診療所の近くに住んでいるので、26年前の震災のとき、地域の拠り所を助ける役割を果たす互助組合員としてがんばったことは忘れられません。

診療所がなくなり、柳診に通院していますが、淋しい思いは強いです。

人との繋がりの大事さを思いながら、行事の時の手伝いなど、声をかけてください。できることをしますよ！



鶇 (ミサゴ)

葺合南支部 長井 良弘さん

飛翔しながら水中の魚を探し、見つけると翼をすばめて急降下して、水面近くで脚を前に伸ばして水中に飛びこみ、両足で獲物を捕らえます。ミサゴは飛翔しながら獲物を見つけると大きさから、水深まで計ることが出来る素晴らしい能力の持ち主です。捕らえた魚は小さければ片足で、写真のように大きいものは、空気抵抗を考えて前後真っすぐに持ち替えて頭を先にして運びます。私はこの鷹が好きでフイルドである甲子園浜に毎週通っています。



177人がヘルスアップ・チャレンジ

効果測定で大きな成果も!?

今年度ヘルスアップチャレンジには、177人がエントリーしました(前年147人)。昨年12月に提出された報告書を集計した結果(報告書提出率は72%)、121人が目標達成したことがわかりました。

今回の特徴は、チャレンジ前と比した効果測定をして「数値で成果を確認」、「改善を実感」した人が増えたこと。あいうべ体操&歯ぐきマッサージで「むせが減った」「歯肉の色が良くなった」、椅子スクワットで「歩行スピードが上がった」、信号待ち腹筋で「腹囲5cm減!」など、具体的な声が多く寄せられました。チャレンジ期間が終わっても継続してください。

そして次年度は、これを読んでいるあなたもチャレンジ!!

「こんな成果ありました!」
と嬉しい報告書の山

75歳以上の窓口負担

2割への引き上げ反対!

『健康ニュース』手配り配布地域で1月号に折り込んだ署名用紙に、多くのみなさんが応えていただき、2月10日現在、1363筆の署名が寄せられています。ありがとうございます。12月の兵庫県議会でも、負担引き上げに慎重な審議を求める意見書が全会派の賛同で採択され、国へ送付されました。

反対の声は広がっているものの、政府はすでに法案を固め、今国会中の可決・成立をねらっています。まだお手元に署名用紙が残っている方は、急いで互助組合事務所か事業所までお届けくださいね。

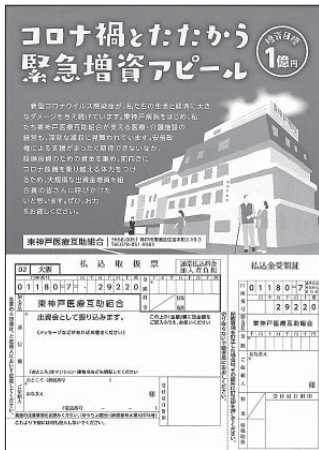
サークル活動紹介

三線同好会芦屋班スタート

これまで主に野の花サロンで活動してきた「沖縄三線同好会」の芦屋班がスタートしました。1月30日（土）、芦屋市春日町の会場に集まったのは7人。毎月第4土曜・10時から定例開催していきます。また東神戸薬局3Fでの日曜例会（第4日曜12時～）もスタートすることになり、毎月の稽古日が4回に増えました。

詳しい日程などは、下のアドレス、または右のQRコードからアクセスしてください。

→ <https://shaokobe.org/sansin2021.htm>



「コロナとたたかうために 年度末にむけた増資のお願い」

昨年の秋、「新型コロナウイルスとたたかう医療機関を支えよう」とおこなった緊急増資アピール（左のチラシを健康ニュース9月号に折り込み）

では、郵便振替で全国の組合員のみなさまからも多くの出資金が寄せられました。郵便振替の件数は150件、金額では250万円を超えました。また振込以外でも、病院や診療所の受付、班会などで、いただいた増資の合計は1月末でなんと1億円を超えたことができました。ほんと

にありがとうございます。しかし、コロナ禍にあっても地域のみなさんが医療や介護を受ける権利を守り、安心して事業所を利用していたけるよう、共和国の事業所は感染対策用の施設・設備の拡充や、PCR検査器をはじめとする検査機器、各種消耗品の購入など、大きな出費が続いています。

ぜひ、年度末（3月末）にむけて、引き続き共和国グループの事業所を支えるため、さらなる増資にご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。



ほくら支部
中町 則子さん

配達地域
深江南町2丁目



住吉北支部
細川 博之さん

配達地域
渦森台2丁目

『健康ニュース』は多くの組合員のボランティアによって、みなさんのお手元に届けられています。現在、配達協力者は324人。お世話になります。

健康ニュース
配達協力者ご紹介
いつもご苦労様です

転居の際はご連絡ください

毎号、かなりの数が「宛先不明」となっています。転居される際は互助組合事務局（☎078-851-9381）にご連絡ください。とくに、以前の住所から転送される郵便でニュースを受け取っていらっしゃる方は、至急、ご一報ください。ご協力よろしくお願いいたします。

●出資金はこちらへ
郵便振替
口座番号：01180-7-29220
銀行振込
みなと銀行住吉支店
口座番号：普通通13870
★いずれも名義は「東神戸医療互助組合」

2021年2月1日の東神戸医療互助組合

- 組合員数（転居先不明を除く）19,433世帯
- 出資金 1,323,005,432円

●各支部の連絡先一覧
芦屋支部 TEL(0797)31-7454（芦屋民商内）
ほくら支部 うはら支部
住吉北支部 住吉南支部
六アイ支部 御影支部
灘東支部 灘西支部
TEL(078)851-9381（互助組合事務局）
TEL(078)231-2335（柳筋診療所内）
葺合北支部

葺合南支部 TEL(078)231-9031（東神戸診療所内）
生田支部 TEL(078)351-0251（生田診療所内）
兵庫支部 TEL(078)371-1841（事務局長個人宅）
北支部 TEL(078)594-7611（訪看 なでしこ内）
北神支部 TEL(078)597-6962（支部長個人宅）

『ひなまつり』

2つの絵に7か所ちがうところがあります。どこでしょうか？（印刷のよごれやかすれを除く）
絵に7か所の○印を入れ、ハガキに貼ってご応募ください。住所・氏名を忘れずに。

■宛先 〒658-0051
神戸市東灘区住吉本町2-19-3
東神戸医療互助組合事務局 宛
■しめきり
4月10日到着分まで
※正解者の中から抽選で10人の方に500円の図書カードを進呈（5月下旬発送予定）。
★391号では153通の応募があり、145通の正解でした。
★391号の答え——①右の年賀状、②鏡もちの飾り、③牛の角、④猫の耳、⑤猫の手、⑥中央の丸皿、⑦男の子の箸

■当選者（391号）
横山裕美子さん（灘 区） 山口 宗一さん（東灘区）
石川 繁さん（東灘区） 今井 重一さん（東灘区）
藤岡 那緒さん（芦屋市） 西岡 義弘さん（北 区）
福田加代子さん（東灘区） 東谷 陽子さん（芦屋市）
吉田 泰夫さん（西 区） 川口 作代さん（東灘区）
大野 哲也さん（明石市） 西脇満智子さん（東灘区）
佐久間且任さん（東灘区） 渡辺美津子さん（灘 区）
上山 佳子さん（兵庫区） 島田 ゆりさん（東灘区）
間嶋 和子さん（東灘区） 千葉 敬子さん（兵庫区）
岡田きよみさん（東灘区） 稲垣 郷子さん（西脇市）

まちがいは7つ



いつも楽しくまちがい探しをしています。絵も時節に合ったかわいらしさで好きです。

石川圭子（兵庫区）

今回はじめて応募することにした。次回はお料理レシピの記事を送ってみたいと思っております。コロナのなか、皆さまどうぞ頑張ってくださいませ！

津村克子（北区）

病院のみなさん、コロナ、コロナで大変ですが、感謝しています。がんばってください。

佐久間且任（東灘区）

コロナ禍での渦中で、皆さま、気をつけながらの活躍を拝見させていただきました。コロナに負けないようにしたいです。

福田加代子（東灘区）

毎回楽しくやっています。健康ニュースが届いたその日に見つけてしまいます。

加藤弘子（須磨区）

いつも楽しく見させていた

東川達子（高砂市）

サーロー節子さんの言葉「核兵器の終わりの始まりにしよう」。日本政府に条約批准を求めて行動していきます。

高橋一男（北区）

病院の関係者の皆さま、毎日たいへんなことと思いま

す。心から感謝しております。

藤原信弘（東灘区）

人間ドック、今年も無理かな。

千葉敬子（兵庫区）

「コロナで大変だと思います。がんばってください。」

釘宮延恵（垂水区）

今年でコロナが終結されることを祈ります。

永井やす子（東灘区）